

平成23年度能美市地域福祉活動計画

第4回アクションプラン推進協議会

日時：平成24年1月12日(木)午後7時30分～

場所：辰口健康福祉センター

出席者：高塚亮三（福祉施設等）、西川方敏（市ボランティア連絡協議会）、井上徹（市民生委員児童委員協議会）、喜多泉（のみ子育てネットワーク）、清水奈津美（のみ子育てネットワーク）武田裕幸（福祉施設等）、宮田明（市自治公民館協議会）、田中邦一（学識経験者）、村上洋子（学識経験者）

欠席者：吉田良（市自治公民館協議会）（敬称略）

事務局：宮本会長、斉藤事務局長、新川、海道、向、西出、谷

1. 開会の挨拶

能美市社会福祉協議会 宮本会長

市が地域福祉計画策定の為のアンケート調査を実施した。それによると、社会福祉協議会（以下「社協」という）を知っているかという問いに対して、4年前のアンケートでは72%だったのに対し「内容を十分に知っている」、「名称を知っている」を合わせても約60%であった。いかにして社協を市民の皆さんに知ってもらおうか。4月からの推進活動計画（2次活動計画）においてもこういった面も計画に盛り込んでいきたいと思う。また、社協の名前の浸透をどう図るべきかも皆さんと一緒に考えていきたいと思う。

高塚アクションプラン（以下「AP」という）推進協議会長

市の地域福祉計画策定委員会、社協の運営検討委員会などに参加して思うことは、市民の皆さんが、社協という組織が民間の組織であって、市民で作り上げている組織だという意識が薄い。福祉を向上させるには、教育、経済、政策が深く関わっているが、「幸せとは、金銭を得られること」という実質的な面でとらえてしまい、そのことが、地域福祉を分かりにくくしてしまっている。また、社協の認知度だが、市民の幸せが確保されていれば、あまり問題ではないと思うが、4年目の節目に当たり、これらの事を念頭に置き、今年度のまとめをしていきたいと思う。

2. 報告及び協議

- ・ 各AP委員会からの報告について・・・資料1

地域福祉人づくり委員会

（資料1－1・2・3参照）第1回～7回まで行ってきて、1年をかけて福祉教育の見取り図を作ってきた。地域福祉に関する意見を聞いていても、福祉意識を高める部分が十分に理解されていないように感じる。体系図を通じて地域福祉をどう進めていくか、人づくり委員会として考えている。

報告会については、私たちのボランティアセンターづくり委員会（以下「ボラセン」という）と合同開催の形をとるので、ボラセンの話聞いた上で進めていきたいと思っている。

地域福祉ネットワークづくり（以下「NW」という）委員会

この委員会の委員の皆さんは、地域福祉の事業等を行うことや、福祉の一部（出身母体・団体）については関心があるが、地域福祉委員会の話になるとなかなか話が進んでいかない。市民の皆さんは、福祉に関心があっても、地域福祉委員会になると関心がないのか、また知らないのではないか。

報告会については（資料1－4参照）重点地区のうち何箇所かの町会からの体験発表と、パネルディスカッションを行うことにし、「町内の連携」をテーマにグループワークを進めていきたいと思っている。

地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

（資料1－5参照）障害児の託児を含めた会員研修を（年6回）開き、一緒に話し合いをしてきて効果があった。個人的にもつながりが出来、少しずつだが前に進んでいる。また、支え合いづくりという中で最初の5年間は、「ファミリーサポート」は、対象が子どもだけではなく、まずは、子どもの支え合いから始まり、そこがモデルになって広がっていき、住民同士が支えあう事が普通になっていくという仕組みを作ることである。これも、何か、やれそうな感触もだんだんあり、前に進んでいる。

報告会については、去年は1回、今年は、土・日の2回にわたって「のみん広場」を行いたい。集うことの良さを感じていただく内容にしたい。ボランティアグループ「ミッフィー倶楽部」と図書館の方たちに協力していただくことになっている。

私たちのボランティアセンターづくり（以下「ボラセン」という）委員会

第7回会合の前日に人づくり委員会の会合があり、私と事務局とで参加させていただき、この会をふまえた上で今年度の報告会をどうするのか決めさせていただいた。終了時間は人づくり委員会に合わせて16時に変更した。また、人づくり委員会と共同開催とあるが、ボラセン委員会は会場として、ボランティアセンターをどのように活用できるか実際に行ってみて、その様子を観察したり、来場者に意見を聞くなどをしてみて継続性のあるものにするにはどうしたらよいかといった事を評価していくところが主眼なので、人づくり委員会の活動に直接、参加するわけではない。報告会については（資料1－6参照）この実験的取り組みが、継続的なつながりに繋がるかを見ていきたい。詳細については、次回会合でつめていきたい。

- ・ 地域福祉活動計画4年目における市民への報告の機会について

「よろっさ やろっさ つなごっさ！春まち ぽかぽかプロジェクト」

（以下「ぽかぽかプロジェクト」という）（資料2参照）事務局からプログラム説明決定事項

- ・ プログラム終了後にかわら版を作成
- ・ チラシは町会長、公民館長、民生委員児童委員、社協理事・評議員、地域福祉委員会活動推進員に配付
- ・ プログラムの目的の記載分は、各AP委員長から個別に提出していただく。

田中・西川：チラシの記述はもう少し簡単に、あまり、細くない方が読みやすい。

1) テレビ小松での PR・宣伝収録：1月30日（月）午後1時30分～

参加者：AP推進協議会理事（都合のつく方）

2) プログラム17全体 AP 委員会について

（資料：22年度ぽかぽかプロジェクト冊子参照）

日時：3月4日（日）午前10時～11時50分

場所：寺井地区で調整（後日、辰口健康福祉センターに決定）

内容：去年同様、各 AP 委員会委員の意見交換

スケジュール：10時 ～10時10分 開会・オリエンテーション

10時10分～10時30分 各 AP 委員会のプログラム報告

10時30分～10時40分 休憩（リズムダンス）

10時40分～11時40分 グループ談義・意見交換会

11時40分～11時50分 閉会の挨拶

役割分担：開会挨拶：高塚 閉会挨拶：西川 進行：喜多（事務局調整）
ファシリテーター：社協職員

準備する物 ケーキとセルフ形式での飲み物を提供

名札（ガムテープ）を旨につけてもらう。6グループをつくる。

村上：和やかな雰囲気にして、意見が出しやすいようにしていただきたい。

3. 今後の各 AP 委員会等の日程について

- ・地域福祉人づくり委員会 1月20日（金）10時～ 寺井地区公民館
- ・地域福祉NWづくり委員会 1月20日（金）19時30分～ 寺井地区公民館
- ・私たちのボランティアセンターづくり委員会 1月18日（水）19時～
2月15日（水）19時～
いずれも辰口健康福祉センター
- ・地域福祉支えあいのしくみづくり委員会 1月26日（木）13時30分～
辰口健康福祉センター

4・その他

- ・次回 開催日 1月30日（月）に集まって頂いた時に、調整する。
- ・ // 会場 辰口健康福祉センター
- ・次回 評価委員会開催日 H24年 3月 15日（木）19時30分～
- ・ // 会場 辰口健康福祉センター
- ・社協の認知度が下がった点について、年齢階層別の差異の分析など、さらに詳しい解析をすることで、適切な対応を模索することの提起があった。

5. 閉会の挨拶

西川 AP 推進協議会副会長

私自身、この AP 推進協議会の課題にしていたのは各委員会の連携である。互いの委員会に出席したり、この場でも意見交換が出来るようになってきた。そういった点で、目に見える進捗はないが、少しずつ地域福祉に寄与する雰囲気が醸成されていると感じる。また、ぽかぽかプロジェクトでの全体 AP 委員会を楽しみにしています。